

2022. 5. 15 平和行進に参加して

佐世保港湾分会 馬場 祐一郎

- 5月12日. 三単産団結式・平和学習会
- 5月13日. 視察 旧海軍司令部壕（豊見城市）～ひめゆり資料館（糸満市）
5. 15 平和行進「全国結団式」
- 5月14日. 宜野湾市役所前～沖縄市八重島公園 行進
視察 嘉手納道の駅～嘉数高台公園
- 5月15日. 沖縄本土復帰50年県民大会. 視察 名護市塩川港～辺野古

日本復帰から15日で50年となる沖縄県で14日、集中する米軍基地負担の解消などを訴える5.15平和行進がありました。沖縄平和運動センターなどで行う実行委員会主催で、復帰6年後の1978年に始まり2020.21年は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となっていました。今年の開催は復帰50年との事もあり参加制限やコース短縮などの感染防止策をとり3年ぶりの開催になりました。

米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設反対などを訴えながら約9キロを行進。強い雨が降る中、宜野湾市民会館前であった出発式では、比嘉京子県議が「普天間飛行場近くの小学校では米軍機の窓が落下する事故も起きている、基地がある生活がどうゆうことなのかを全国の皆さんに考えてもらいたい」と言われ、それまで何も考えてこなかった自分がその場にいることが恥ずかしく思えました。今年の行進は半日しかありませんでしたが、在沖米海兵隊基地司令部がある米軍キャンプ瑞慶覧ゲート前などで声がかかるくらい、思いを届けようとシュプレヒコールをあげました。

今回2回目の参加で団長という役割を任命され、自分に出来るのか、こんな自分が皆をまとめて訴えることが出来るのかすごく不安でした。しかし全国の皆さんに助けられ内容を少しずつ理解していくにつれ、団長としての役割・行動等を学び自分自身のスキルアップ、沖縄への思いを学べた4日間でした。

新型コロナウイルスの影響で行進が短くなりましたが、その中でも勉強できたことがあり前回2019年に参加させてもらったときは、行進をしてその間の時間・限られた時間の中でひめゆり資料館等見学させてもらい、その時は時間が無く流れで戦争についてだとか戦争の被害にあったひとの体験エピソードなどを見たり、聞いたりしましたが、今回は時間をとってありじっくりと戦争について資料をみて学び、体験談を聞いて学びと、今まで自分達が経験したことないことを勉強させてもらいました。

平和行進で学んだことを活かし、長崎の平和学習会に繋げていきたいと思います。